

デミング賞・日経品質管理文献賞の説明資料

I. デミング賞とは

1. 「デミング賞」は、統計的品質管理の工業への応用において終戦後、たびたび指導のため来日された米国人故 W.E.デミング博士（1900～1993）の友情と業績を記念し、わが国の品質管理の一層の発展を図るため、日本科学技術連盟によって1951年（昭和26年）に設けられたものであり、今年で創設66年を迎えました。

また、「デミング賞大賞」は、日本科学技術連盟が、1969年（昭和44年）10月東京で開催した世界初の品質管理国際会議を記念し、その意義を永く将来にわたって維持高揚するとともに品質管理の一層の発展をはかるために創設されたものです。

企業・組織を対象とする「デミング賞」「デミング賞大賞」は、応募した組織について審査が行われ、授賞を決定いたします。

デミング賞委員会の経費は、一般財団法人日本科学技術連盟によって負担されています。

2. デミング賞の種類

「デミング賞本賞」、「デミング賞普及・推進功労賞(海外)」、「デミング賞」、「デミング賞大賞」の4つがあります。

3. 授賞の対象

賞の種類	賞の概要	対象
(a) デミング賞本賞	1) 総合的品質管理(Total Quality Management, 以下TQMという)の研究に関し優れた業績のあった者。 2) TQMの普及に関し優れた業績のあった者。	個人
(b) デミング賞 普及・推進功労賞 (海外)	TQMの普及・推進に関し、優れた業績のあった者。 ただし、候補者は、主たる活動が海外に限定される者に限られる。(原則として3～5年ごとに選考が行われる)	個人 (海外)
(c) デミング賞	経営理念、業種、業態、規模、経営環境にふさわしいTQMが効果的に実施されている応募組織に授与。(年度賞)	企業・組織
(d) デミング賞大賞	デミング賞を受賞した組織のうち、受賞後3年以上を経過しており、受賞後もTQMにおいて優れた成果をあげ、デミング賞委員会による審査に合格した応募組織を対象に授与。(年度賞)	企業・組織

II. 日経品質管理文献賞とは

日経品質管理文献賞は、「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献（数値表やソフトウェアをとまなう文献を含む）で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められる優秀なものを表彰するため、日本経済新聞社により、1954年に創設されました。この賞の審査はデミング賞委員会において行われ、デミング賞行事の一環として毎年賞の授与が行われています。

推薦または応募の資格

日経品質管理文献賞は、日本語で書かれた文献、または、日本を主たる活動の場としている著者の文献で、次に掲げる文献の作成者に授与されます。

- a) 「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献（数値表やソフトウェアをとまなう文献を含む）で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められるものを対象とします。
- b) 対象文献は、原則として、前年の7月1日から当年の6月30日までに公表されたものです。

デミング賞／デミング賞大賞の累積受賞者（組織）数

1. デミング賞本賞

[1951年（昭和26年）以降2016年（平成28年）までの受賞者数] 79名

2. デミング賞普及・推進功労賞(海外)

[2009年（平成21年）以降2016年（平成28年）までの受賞者数] 3名

3. デミング賞

[1951年（昭和26年）以降2016年（平成28年）までの受賞組織数] 延241組織

(a) デミング賞

18組織（うち海外9組織）

※2012年度の賞の名称変更以降の数

(b) デミング賞実施賞中小企業賞（1994年まで）

38組織

(c) デミング賞実施賞事業部賞（1994年まで）

5社5事業部

※1995年からデミング賞実施賞中小企業賞およびデミング賞実施賞事業部賞という名称は廃止され、デミング賞実施賞に一本化されました。

(d) デミング賞事業所表彰（2009年まで）

16社20事業所（うち海外3社3事業所）

※2010年からデミング賞事業所表彰はデミング賞実施賞に一本化されました。

(e) デミング賞実施賞（2011年まで）

延160組織（うち海外35組織）

※2012年から「デミング賞実施賞」を「デミング賞」に名称変更しました。

4. デミング賞大賞

[1970年（昭和45年）以降2016年（平成28年）までの受賞組織数] 延28組織

（再度の受賞組織2組織、海外10組織を含む）

※2012年から「日本品質管理賞」を「デミング賞大賞」に名称変更しました。

5. 日経品質管理文献賞

[1954年（昭和29年）以降2016年（平成28年）までの受賞件数] 236文献